

2007年8月28日

## テムリック株式会社

各位

テムリック、ゼリア新薬工業と  
TM-411の肝細胞癌(HCC)の適用に関するライセンス契約を締結

テムリック株式会社(本社:東京都港区 社長:稲垣 哲也、以下「当社」)は、ゼリア新薬工業株式会社(本社:東京都中央区 社長:伊部 幸顕、以下「ゼリア」)と当社が保有するTM-411の肝細胞癌(hepatocellular carcinoma : HCC)の共同開発ならびに独占的製造販売に関するライセンス契約を締結しましたので、お知らせいたします。

## ライセンス契約の内容および目的

当社は開発コードTM-411(一般名:タミバロテン)の肝細胞癌の適用に関する国内における共同の独占的開発権および独占的製造販売権をゼリアに許諾するライセンス契約を締結いたしました。当社は、本剤を急性前骨髄球性白血病治療剤として昨年3月に韓国Choongwae Pharma Corporationに韓国における独占的な開発・販売権を、昨年12月に米国Innovive Pharmaceuticals, Inc. に北米における開発・販売に関する独占的な権利を許諾するライセンス契約に続き、国内企業とは初のライセンス契約となります。

本剤は、RAR $\alpha$ を介してIL-6産生の阻害、IL-6RおよびVEGFRを阻害することで、HCC増殖と血管新生を抑制し、副作用の少ない肝細胞癌用医薬品として期待されます。日本国内における肝細胞癌の死亡率は罹患数に対し90%以上と極めて高く、がん死の第3位となっております。本剤は、肝細胞癌に適用できる医薬品として大きな市場性が予測されます。消化器系分野において高い研究開発力および販売力を有するゼリアとの契約締結により市場開拓の可能性がさらに高まるものとして当社は期待しております。

この契約締結により、当社とゼリアは日本国内において肝細胞癌の研究開発を共同で行い、ゼリアが製造販売承認申請を行う予定にしております。ゼリアは、がん領域における新薬開発を推進していくことが可能になり、当社は契約一時金および開発段階に応じたマイルストーン収入を得ることになります。ゼリアが本製品上市後においては、当社にロイヤリティが支払われることとなります。

また、ゼリアが当社株式を約3%取得する資本提携を行うことについても基本合意しております。

今後、当社は国内、米国、アジアに続き欧州市場においても本剤の導出を進めるべく、積極的に活動してまいります。

※タミバロテン

東京大学薬学部において創製されたレチノ安息香酸(レチノイド)で、強い分化誘導活性を示す薬剤です。国内においては東光薬品工業株式会社が開発に着手し1998年11月27日に希少疾病医薬品の指定を受け、2005年4月11日に新医療用医薬品として「再発又は難治性の急性前骨髄球性白血病(APL)」の治療薬として承認され2005年6月「アムノレイク錠2mg」として上市されました。

●テムリック株式会社

本社 東京都港区赤坂3丁目4番3号  
資本金 14億4,796万円  
代表者 代表取締役社長 稲垣 哲也  
業務内容 がん領域に特化したCRO事業(医薬品開発支援)、創薬事業(自社開発)  
URL: <http://www.tmrc.co.jp/>

●ゼリア新薬工業株式会社

本社 東京都中央区日本橋小舟町10-11  
資本金 65億9,339万8千5百円  
代表者 代表取締役社長 伊部 幸顕  
業務内容 医薬品、医薬部外品、医療機器、化粧品、健康食品等の製造・販売および輸出入  
URL: <http://www.zeria.co.jp/>

\*このリリースに関するお問合せ先

テムリック株式会社 東京都港区赤坂3-4-3  
Tel :03-5575-8031